

さかなの日を考える

●背景

新たな生活様式に対応した水産物消費拡大方策 (令和3年6月検討会とりまとめ抜粋)

- 多くの魚に関する記念日なども活用しながら、企業の創意工夫により、独自の販促や特売メニューの提案、イベント等を行う日として「さかなの日」を制定し、個別の企業活動との連動で大きな魚食ムーブメントを創るような取組が必要である。
- 取組に賛同する企業が集まって、活動情報を持ち寄り発信し、互いの取組の効果的な連携を調整するプラットフォームとして「さかなの日推進委員会」を設立し、官民協働の取組として行う必要がある。

●取組内容・スケジュール

- 今年度は、トライアルとしての2021年度版「さかなの日」を試験実施。
- 試験的に各種取組を進め、「さかなの日」の賛同企業を募る。
- トライアルの進捗状況や結果は実行計画会議へ報告。

9～10月	賛同企業の募集開始 さかなの日推進委員会の立ち上げ（事務局：NKB） 第1回さかなの日推進会議	} トライアルイベント
11～2月	ECサイトによるさかなの日 子供向けさかなの日 飲食店によるさかなの日 量販店によるさかなの日	

令和3年度

水産物消費拡大実行計画会議

●実行計画の策定（R3年度末）

トライアルでの経験を踏まえ、効果的な「さかなの日」の制定に向けてさかなの日推進委員会で具体案を検討頂く旨、令和4年度の実行計画において規定。

※その他の消費拡大施策についても、令和4年度実行計画へ反映

さかなの日推進委員会

実行計画に従い、関係業界のヒアリングや賛同企業のアンケートを実施し、効果的な「さかなの日」及び取組の方向性について意見を集約する。

令和4年度

「さかなの日」を制定・取組の実施

実行計画会議において、「さかなの日」制定や取組内容についての評価を行い、次年度の実行計画を策定。